日刊　昭和25年10月6日「除月曜」第三種郵便物認可　郵政省特別扱承認第684号　磐城日日　昭和28年（1953年）10月16日（金曜日）第956号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港通51
電話代表387番
編集兼発行人　[illegible]

更に本年豫算二百万　築港完成に積極化

期成同盟總会で決議

小名浜築港促進同盟会總会は十四日（既報十五日は誤りにつき訂正）午後一時から小名浜町公民館議堂に開催された

會長大竹知事代理として副会長水野小名浜町長が会長席に副会長席に木戸河港課長、小野縣議がそれぞれ着席、評議員、常任評議員、幹事、常任幹事五十余氏出席の上濱田小名浜港務所長の開会の辞で開催、續いて同盟会書記河港課佐藤技師から昨年九月十日結成以来、日本港湾協会小名浜港修築調査委員会の組織その成案を得るに至つた今日迄の運動經過が報告され、議案第一號、昭和二十七年度決算が附議された

▽予算總額＝二百十二万円

▽總收入＝百四十五万千七百八十三圓

▽支出總額＝百四十四万八千三百四十八円

▽差引殘り＝三千四百三十五円

が異議なく承認され、次いで上提された第二號議案二十八年度予算も原案通り決定された

▽二十八年度予算概要

（收入）

負担金＝縣五十万、小名濱五十万

寄附金＝百万

繰越金＝三千四百六十五円

計＝二百万三千四百三十五円

（支出）

事務費＝十万

会議費＝三十万

事業費＝百五十万

予備費＝十万

計＝二百万

議案審議後縣水産課菅野課長の祝辭を受けて懇談会を行つた

綜合努力を結集

波狀的に陳情運動

小名浜築港は從来公共事業の對象として運動を展開されて來たが、今後は公共事業は勿論、先頃公布された港灣事業整備促進法に基く縣單獨事業の起債の枠獲得など二重、三重の開發方式によつて築港促進を運動する事になり、二百万の予算で既に着手されようとしている二十九年度予算編成に当り、調査委員会の第一期計畫一万トン岸壁設置予算化を当面の目標として積極的に波狀的陳情運動を展開する事が決議された

今日の主張

市制施行への警鐘と行動政治の提唱

梅野隆

兎も角も鹿島合併問題は解決し、編入鹿島村の諸人事も決定して双方町村は目下事務引繼ぎ準備に忙殺されている

その間にあつて、本社が逸早く捉らえた分村協定無効の八代聲明、縣總務委が採つた妥協調停案に對する〃蓮四郎批判〃等にも現われた松久須根、上矢田、三澤の三部落湯本分割協定なるものが、何時どんな形を持つて実施されるかが、殘された問題として關係町村民の注視の的となつている

しかし、この問題を解決するカギは鹿島部落民が握つており、小名浜町の政治力が如何に是をよりよく解決点に推進するかという課題と共に、町は再び茲に環視のライムライトを浴びることは必然である

由来小名浜町のやつていることをジッと見ていると、全く間が伸びて寸足らずの感を抱かずにおれない、丁度腐りかかつた「昨日のうどん」みたような味もソッ氣もない爲政者とその一連の動きが鼻もちならぬ異臭を放ち、一体この人たちの行政企劃の中心が何處に置かれているのか皆目判らなくなつて來る

鹿島合併問題に例をとつても数年の日数と、夥しい金錢の出血を敢えてしながら結果に於いて何を得たか………？

單に政府の合併促進案に忠実であつた、として後日表彰して貰うために働いたお目出たい人たちばかりでもあるまい

合併目的の最大の狙いは市制施行にあつて、その推進のための動きと見て今日まで極めて好意的に見守り、協力し、後援しそれがためには小社なりに犠牲的な出血も敢えて意とせず、その實現による町村民の福祉の中で本社も共に生成發展の喜びを市制の姿にかけていたのである

しかるに前途には市制施行の早急實現に幾つかの石ころが轉がり、町当局はその石塊の実態や重量等を計りもせず、「これは困ることの罷り出で候」と人ごとのように能樂の舞台にボンヤリした眼を注いでいる

泉、江名、豊間を含む大都市の構想は今日決して画に書いた餅でなく、当面の急務として市制施行線上に大きくうごめきながら、しかも是等の町村自体にさえその胎動が始まつている

地區署管内における町村の綜合体としての市制実施は、最早や歴史的必然性の中にある

市制準備委員長は自己の營業權に頭を痛め理事者はすでに政治に熱意を失い、誇ん妄想狂どもは磐崎湯本町をも含めた大都市の構想だけに酔いつぶれ、黄色いわけの解らぬ氣焔を上げて自家中毒の色盲症狀にあるからして何時まで經つても現實化されぬのみか湯本町あたりと、觸れずもがなの磨擦を生じ藪蛇の反擊爆彈に見舞われる

大綱推進に熱意を失したもの、公選議員の自覺不能者たちは此の際自から退陣するの勇氣を出し、二日酔いの色盲症患者はアレルギー疾患の治癒に強力な精神醫の暗示を受ける必要があろう

慌しい行政過度期とそれから芽生える新生面の息吹が、強力に擡頭している実盤の季節に、行動する政治家を求める今日より急なるはない

街の音盤

片假名ばかりの文章や、極端に先端をゆく繪畫の世界には難解めものが多く一「金送れ賴む」が「金遅れた飲む」になつたり、「見事な冬瓜じやないか」と見ていたものが何ぞ計らん婦人のお尻りであつたりして全く人間の頭を疲らせるが

これはまたそれが兩方重さなつて審議會まで開らかれようとした去る會社の晝休みの話題

※　※

ミズノマサタロウチョウチョウシセイシコウノ圖」と書いて超未来派の繪が、三角と四角の羽根を防波堤みたいな胴体に重なりかゝつている「水飲まされた老蝶を死生思考の圖」ナルホド哲學的な昆虫學的な未来派の画題はスゴイと感心する若い社員

バカそんなことがあるものか、「水野政太郎町長市制施行の圖」に決つている、若い者はとかく過剰意識で困ると某課長曰わく

是は次の添書きに關連性ありと思惟せられる、と云う添書きの假名文字は

タチパナシデキチチョウ
チョウナンナンコノアイ
ダマコトシガミトリヤ、
ヨウヘイサイトアキライ
ネ

「立話し出来ち喋々喃々との間亮氏が見とり屋用兵、さりとは嫌いネ」と讀むからコンガラがる

「立花秀吉町穏難々、此の会田亮志賀綠屋要平齋藤昴去ね」なアーる程

これじやまさに審議會も全侠補去ねと鑑入組の、一派の漫画か（デカタン

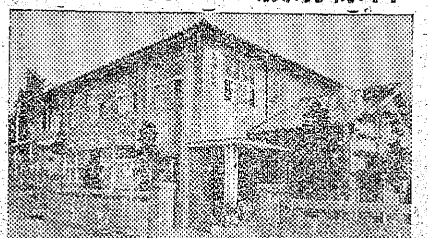
常磐名産　みりん干

[illegible]

募集
業務部員　若干名
◇希望者は履歴書持参の事
磐城日日新聞社

三本立上映
14日ヨリ17日マデ同時上映
アジャー！これは凄い爆笑の新兵器ひっさげて登場
かつぱ六銃士　伴淳、堺　アチャコ、八千草
殘侠の港　藤田、大友、徳大寺　闘、花柳
皇太子様外遊記
小名浜　キンビ館　電六七〇

外科　婦人科
産科　放射線科

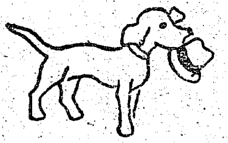


黒澤醫院
小名浜第一小學校隣　電45番

うまい醤油
うまい味噌
ホシ友
ホシ友
ホシ友
ホシ友

ホシ友醤油株式會社　社長　星友太郎

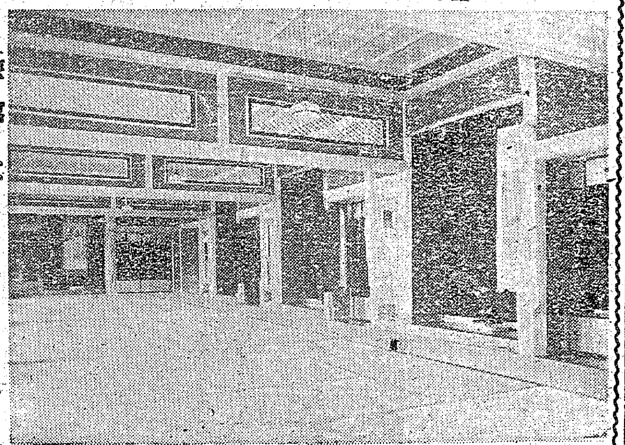
寒に備え……
暖房器具を……
新型電氣（オカモダツ
コタツ）
長山電機商会
小名浜町本町[illegible]



チケット歓迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地　入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品御屋メヌマ
ジユジユパピリオ　80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
經費をかけずに良い品安く

㊡小泉屋ニュース　No. 4
三元式
堀井謄寫版
（附屬品）
鉄筆用原紙、タイプ原紙、ヤスリ各種、インク類、ローラ、絹布、修正液
小名濱町本町　電話122番

弊館新築の粋を凝らした大別館
旅館
割烹
若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
御座敷女中募集（若干名）



第三種郵便物認可　一部金5円（月曜休刊）　磐城日日　昭和28年（1953年）10月16日（金曜日）　第956號

三島助役は本廳助役代理に
合併異動人事發表さる
＝遠藤庶務課長以下十九名＝

鹿島村合併に伴い小名浜町では住吉支所の昇格を兼ねて異動人事に愼重な検討を加えていたが三島助役（鹿島）以下の異動を十五日次のように発表した

小名浜町では鹿島村合併に伴い鹿島支所を開設、同時に住吉出張所を玉川支所に昇格、旧玉川部落（岡小名第一第二、南富岡を除く）の行政事務を分掌させることになり、その人事異動を十日附で十五日發令した

庶務課長　主事　遠藤　定雄
解任庶務主任　主事　立花　周平
命庶務主任兼務　企画課長　主事　小泉　安雄
解任企画主任　主事　丹野　作平
命玉川支所長　書記　渡邊　讓弘
命玉川支所勤務　玉川支所長代理　書記補　上遠野保雄
同　雇　八代秀三郎

錦中が一位
菊多方部中学對抗リレー

菊多地区中学校對抗リレー大會は植田、錦、勿来山田、川部の五校が参會して大熱戦を展開した結果、男子では錦中學校が晴れの第一位を獲得、榮えある優勝旗を校長室に飾つた

二位川部、三位植田

女子の部では川部中學校が第一位を獲得、二位に錦、三位が山田中学校であつた

同　雇　高萩ヒデ子
同　主事　新妻　二郎（前鹿島收入役）
命鹿島支所勤務（出納員、支所長代理）　書記　箱崎　行雄
命鹿島支所勤務　書記　箱崎　政子
同　書記補　山野辺照文
同　雇　右色　三明
同　主事　三島五一郎（前鹿島助役）
命庶務課勤務（助役代理）　書記　小泉　誠治
命企画課勤務（企畫主任）　書記　大瀧　忠男
命財務課勤務　書記補　吉田　光男
命財務課勤務　書記補　小野　功
命土木課勤務　書記補　鈴木　孝雄
同

愈々きよう上棟式
小名浜町廳舎年末完成急ぐ

惡天候と戦いながら突貫工事で鋭意工事が進められて來た小名浜町役場建築は愈々十六日午前十時から同廳舎工事現場で打上げ式、普通家屋の上棟式を行う事になつた新廳舎は常磐土建が社長草野道八氏を陣頭に町民の誇りとも希望ともすべき大工事で鉄筋コンクリート二階建という浜通り唯一の堂々たる建築をしかも地元業者の面目と威信を一身に鋭意工事を進めて來たものであるが、異数の長雨に着工以來惱まされ續けて工程予定より十五日も遅延すると云う悪條件をコク服し、基礎工事一階工事、二階工事とコンクリート荒肌は生々しく秋の陽に日一日とその大きさを増大して愈々十四、十五の兩日深夜作業を强行して全型枠工事を完了して十六日打上式を擧行するに至つたものである

晝夜工事監督に當つて來た加美山営繕技師もその頰をほころばせながら「年内には立派に完成出來ますよ」と語つている

印刷　御用命ハ　電219

名コンビ　理事補助者
―鹿島の意志登用にも一役　水野人事苦心の跡を見る―

解說

鹿島合併に伴つて従來の住吉出張所を昇格させて支所とした事も鹿島合併に伴う水野町長の好ましい政治である

この鹿島村合併、鹿島支所の設置、住吉出張所の昇格と一連の行政組織の改革に伴つて行われた人事の異動は水野町長の「役場吏員は地方事務は何でも一應知らねばならぬ知らしめる、その上適才を適所に生かして精通せしめる」方式に基いて行われた事は異動が比較的若い者に限られた事から窺い知れる

最も斯界の注目を集めた旧鹿島村三役を如何に受け入れるかについては八代村長を鹿島支所長として合併を巡つて復雜化した村状の緩和收拾に當らしめると同時に鹿島の意志を町政に充分に反映せしめる事にし、三島助役を庶務課に入れて助役代理に補し、新妻収入役はそのまゝ助役格として八代支所長を補佐させると共に出納員として舊鹿島方部の税務、金銭出納を擔当すると云う見事な捌きを見せて鹿島合併の最後を飾つている

面白い事は三島助役の庶務課入り助役代理で長瀬助役の短を補つて名コンビとなるであろう事である

長瀬助役その人となり不愛想で表面点数的に損をしているが、助役として公僕として爲す事は町民にとびを賣りお世辭を並べ愛想を振りまく事ではなく、仕事の面で充分にその力量を発揮する事にあるのであり、その点長瀬助役は縣下有數の助役として買つてもよい

その長瀬助役の代理格として温厚篤實、實にその人格神に近いと許せられる三島氏を配する事は長瀬助役の数理的天才と政治力量を充分に發揮せしめて不愛想の短を補い小名浜町政の理事補助陣に磐石の重きをおくものとなろう

小名の傷害事件
若松に七年の判決

小名浜町中郎無職若松要（二三）にかかる傷害致死容疑の最終公判は十四日地裁平支部で青木裁判長係りで開かれ懲役七年の判決言渡しがあつた（求刑懲役十五年）

若松は去る六月二十一日午後三時頃小名浜町花畑仙坂金二さん方で飲酒の上花札賭博を開帳　賭金のことから同町松の中鳶職松橋喜七郎（二六）を路上に於て丸太で殴打し死に致らしめたもので、高飛寸前、自宅附近に潜伏中を小名浜地區署員に逮捕され傷害致死容疑で平地検に送検されたもの

綴小學が完成
十六日開校と落成式

内郷町綴小學校（校長米本実氏）は十六日午後二時から町当局、教育關係者、学校関係者五百余氏を招待して同校落成式を挙行する

同校は本年四月發足と同時に校舎建築を急ぎ普通教室十五、特別教室三十總二階建二棟、工費千七百五十万円を費やしてクリーム色の瀟洒な近代建築を完成したもので、完備した近代的小学校として三郡に誇つている

働く少年の座談会
平勞基署で

平勞働基準監督署では平石城郡内の新聞配達少年など働く少年を十三日正午から同署會議室に集めて働く少年の座談会を開く事になつた

なお終了後、野球大会を催して慰め親睦を図かる事になつている

美術とパーマは
本田美容室
小名浜町

各種印刷の御注文は長瀬

天氣豫報 16

（本日）北のち東寄りの風晴れたり曇つたり遅くなつて小雨の降る處もあります

（海上）始め穏やかですが後やゝ風波が出て來ます

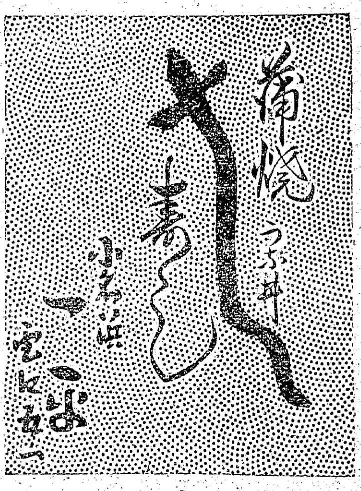
靑菜市況 15

（小名濱中央靑果市場）

卵一二〜一四、二なす一〇〇〜一六〇さつま三〇〜五〇大根三〇〜五五菜三一〜五〇きうり八六〜一〇〇人參一五〇〜一八五丸大根二〇〜四五生が四〇〜八〇ねぎ八六〜一二〇牛蒡九九〜一〇〇切いも一〇〇〜一六〇馬鈴薯五七〜七九白菜四〇〜七〇里いも三七〜五〇なた豆一二〇〜一五〇玉菜四〇〜九〇玉ねぎ五〇〜八六ほうれん草四〜一二

文撰工（年令男女不問）
見習工　若干名
右募集す
長瀬印刷株式會社

外科
内科
性病科
草野醫院
草野直平
野間　正
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番



品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電三〇四

小島の運動靴

味と香で このうまさ
緑
小名浜町　電29
緑屋醤油醸造場
志賀要平

外務社員　急募
御希望の方は履歴書御持参のこと
年令・学歴を不問、要保證人
投資は有利！
金融は低利融通！
小名浜町愛宕下　若葉館前
日本投資金融株式會社
電話三四五番

月掛で家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
建設大臣登録（ロ）第九六二号
平市大町三番地（電五八〇）
日本建物KK平營業所
所長　大樂　弘
本社　仙台市
管内出張所
湯本町三函一五〇　電話二〇三・一三一番
小名浜町下町一八
植田町字本町　電話六二番
専屬工事人・連絡所
小名浜町上町五六　小名浜土木株式会社
一級建築士　坂本一郎
募集　外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛郵送下さい

看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持参面談
医療法人　柳田病院
院長　柳田　敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣り）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保険醫＝結核豫防醫
生活保護指定醫＝労災保険指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分